

創業者出身地への学生派遣プログラム 2014 熟議FINAL

10月25日（土）、6月のガイダンスを皮切りに約半年にわたり活動してきた「創業者出身地への学生派遣プログラム2014」について、参加学生と社会連携機構スタッフが座談会形式にて振り返りを行う「熟議FINAL」を実施しました。この「熟議FINAL」は、プログラム全般や取り組んだテーマ、次年度のプログラムに望むことなどについて検討し、今年度のプログラムを総括するとともにその課題と解決策をまとめ、次年度以降のプログラムへの改善案を提案することを目的としています。今年度のプログラムに新たに取り入れられた「著作権研修」などの試みは、実際に昨年度の熟議FINALで提案を受けた取り組みです。

創業者出身地への学生派遣プログラムが開始して3年目にあたる2014年度は、過年度のプログラムも含めた総振り返りを実施し、今後の学生派遣プログラムの展開だけでなく、創業者出身地との連携の在り方についても検討しました。当日は、今年度の参加学生だけではなく、過年度の参加学生（卒業生含む）も募り、プログラムの思い出を振り返りながらの明るくも白熱した賑やかな議論が行われました。

内容

熟議Ⅰ 創業者出身地への学生派遣プログラム 振り返り

- ①プログラム全般について
 - ②テーマについて（プログラムテーマ、グループテーマ）
 - ③プログラムの感想（得られたもの、気づいたこと、良かった点、悪かった点）
 - ④今後のプログラムに望むこと、今後取り組んでみたいプログラム内容について
- 今回のプログラムの課題と解決策をまとめ、次年度のプログラムについての提案をまとめる。**

熟議Ⅱ 創業者出身地との新たな関わり方を考える

- ①創業者出身地でできること
 - ②正課外活動に求めること
 - ③今後のプログラムに望むこと、今後取り組んでみたいプログラム内容について
- 今回のプログラムの課題と解決策をまとめ、次年度のプログラムについての提案をまとめる。**

